



Team Foundation Server 2018 を使用したバージョン管理 Magic xpa 3.0/Magic xpa 2.5/uniPaaS V1Plus 補足資料

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
2018年8月24日

本ドキュメントは、Magic xpa 3.0/Magic xpa 2.5/uniPaaS V1Plus で Team Foundation Server(以下 TFS) 2018 を使用したバージョン管理の補足資料です。TFS2013(TFS2010)との違い、及び注意事項等について記載されたものです

各章の番号は、「[Microsoft Team Foundation Server を使用したバージョン管理](#)」の各章の番号に合わせたものです。

目次

Team Foundation Server 2018 を使用したバージョン管理 補足資料	1
3. TFS のインストール	2
参考サイト	2
3.1 前提ソフトウェアのインストール	2
3.2 TFS 2018 のインストール	2
3.4 TFS チームプロジェクトの作成	11
6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト	16
8. ワークスペースについて	17
9. トラブルシューティング	18
9.1 クライアントから接続できない。	18
9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。	18
9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません。」の行がある。	18
9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、TFS サーバと正しくバージョン管理できなくなる。	18
9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、TFS のチームプロジェクトに残ったプロジェクトフォルダを削除すると、除外したはずのクライアントのプロジェクトも削除される。	20

3. TFS のインストール

参考サイト

リリースノート

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/visualstudio/releasenotes/tfs2018-relnotes>

システム要件(英語サイト)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/tfs/server/requirements?view=vsts>

バージョン管理システムの利用について(英語)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/vsts/repos/tfvc/overview?view=vsts>

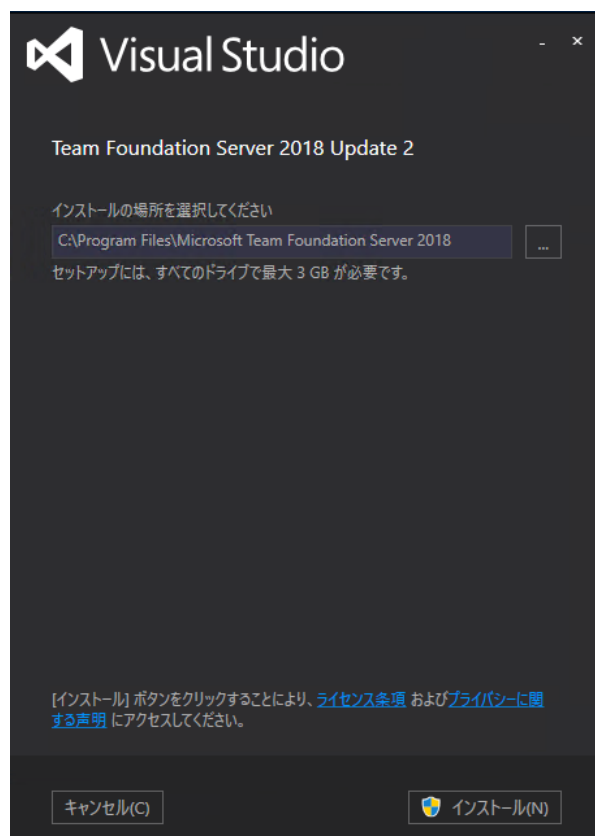
3.1 前提ソフトウェアのインストール

IIS も.NET3.5 も予めインストールしておく必要はありません。

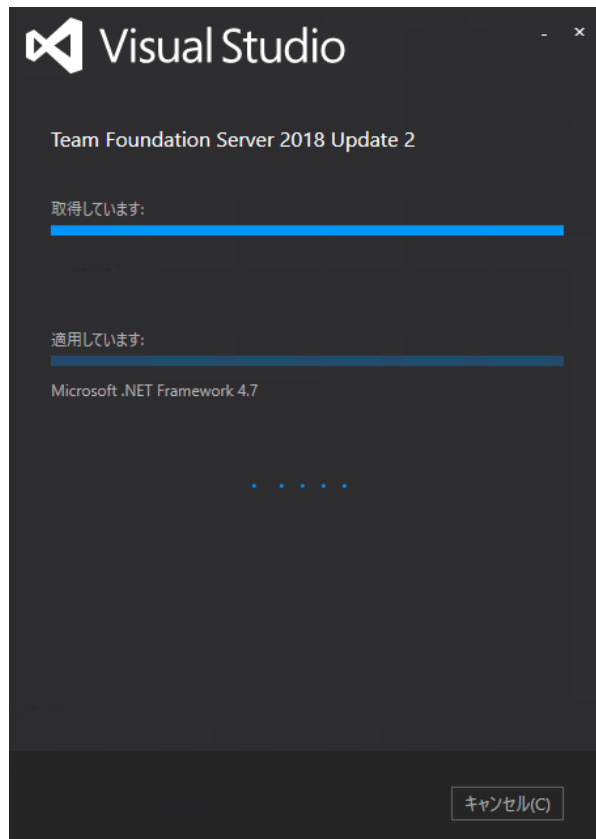
IIS は TFS のサーバ構成の過程でインストールされます。

3.2 TFS 2018 のインストール

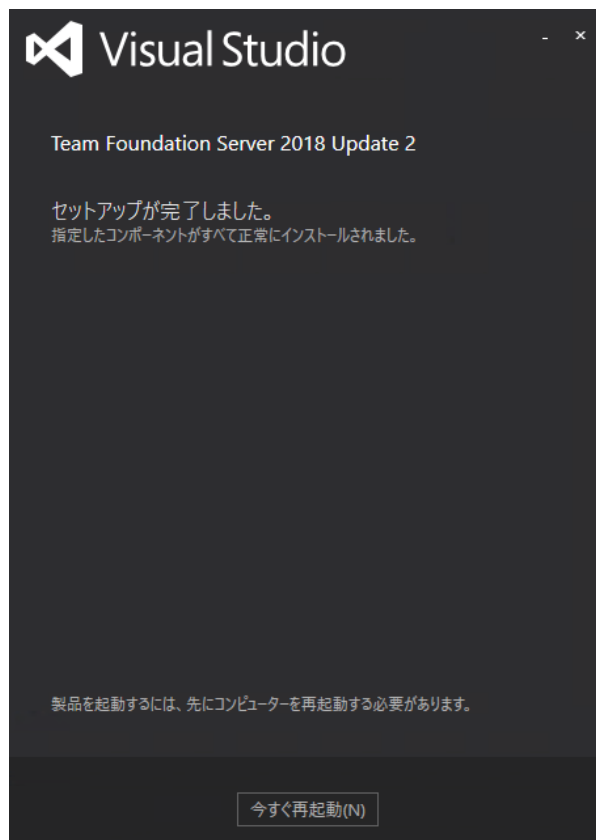
インストーラを起動します。



インストールボタンをクリックします。



終了したら、「今すぐ再起動」をクリックして、マシンを再起動します。



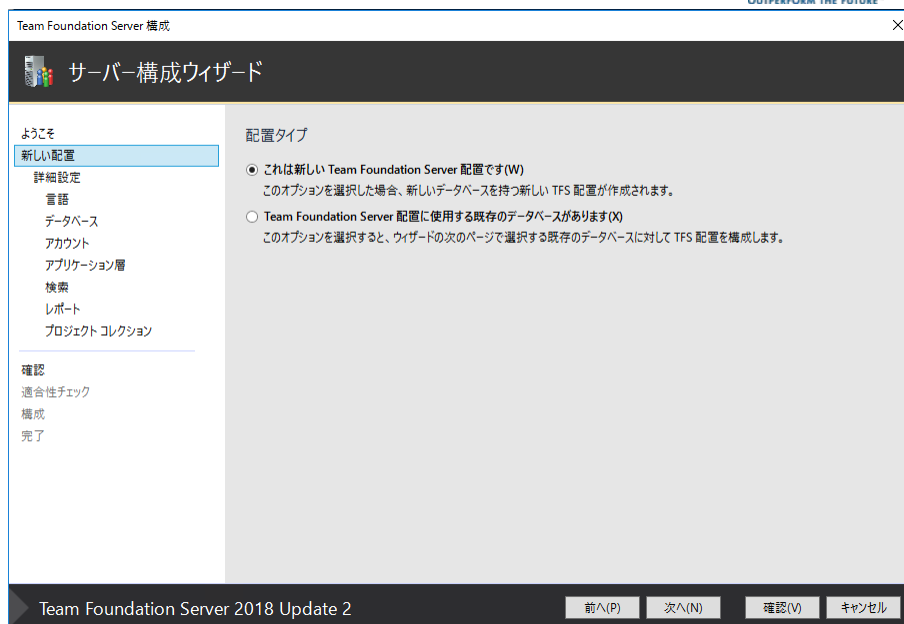
再起動してログオンすると、次の画面が立ち上がるので、「次へ」をクリックします。



「ウィザードの開始」をクリックします。



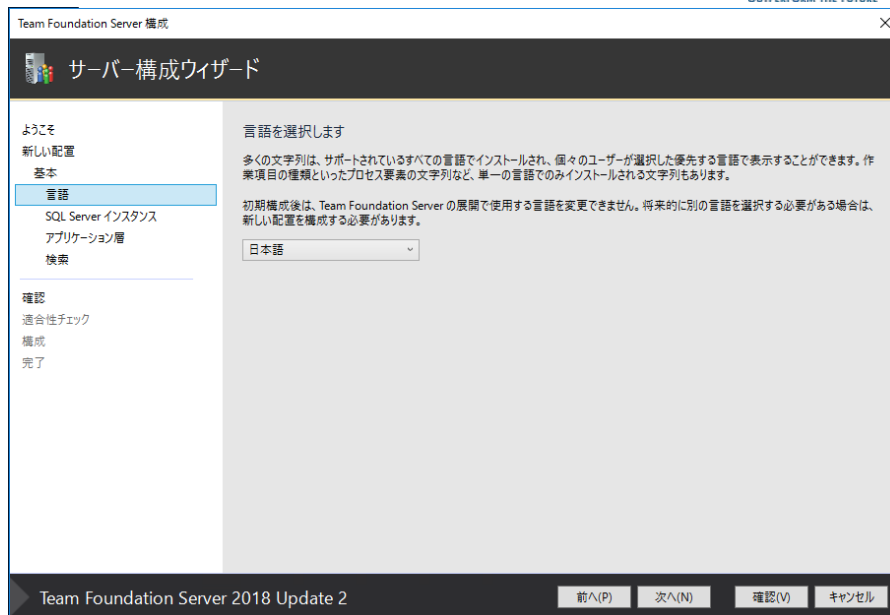
新規のインストールでは上、以前の TFS のデータベースが残っている場合は下のボタンを選択して、「次へ」をクリックします。ここでは、上の「新しい Team Foundation Server」で進めます。



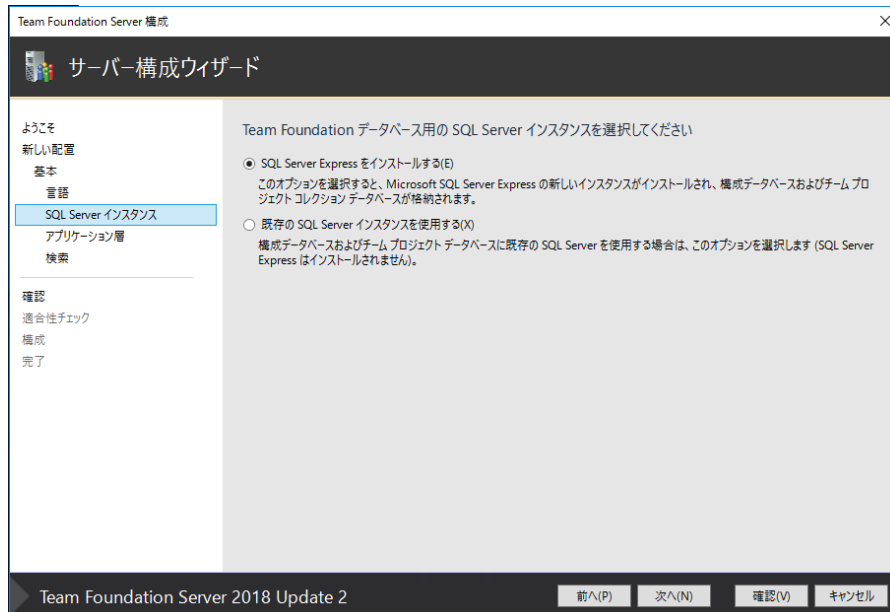
標準のセットアップを行う場合は上、カスタマイズが必要な設定の場合は下を選択して「次へ」をクリックします。ここでは、上の「新しい配置-基本」で進めます。



言語はデフォルトの日本語のまま「次へ」をクリックします。

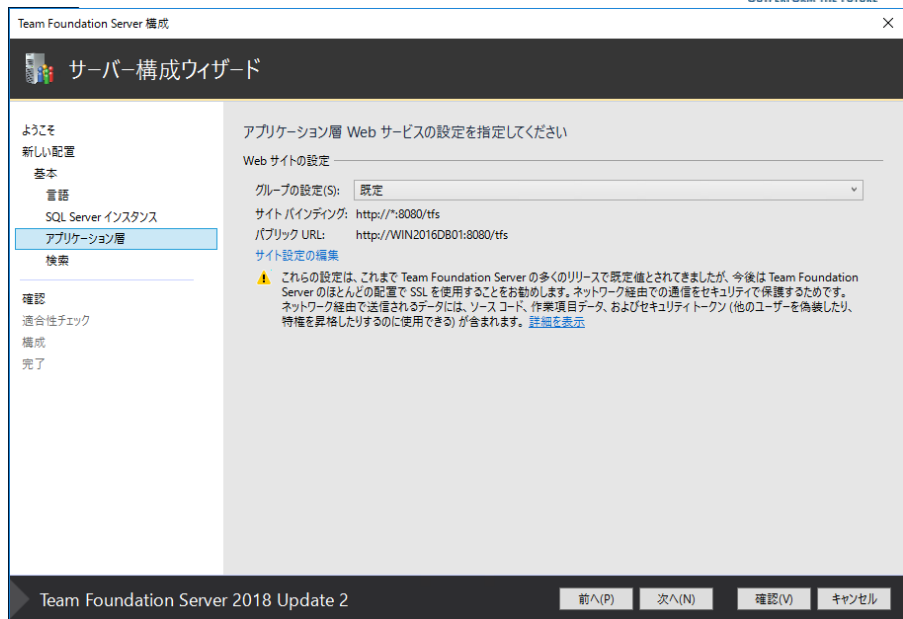


SQL Server がインストールされていないならば、既にインストール済みであれば、「既存のインスタンスを使用」を選択して、「次へ」をクリックします。



TFS のプロジェクト管理を行う Web サイトで標準の http と https の設定。

TFS のプロジェクト管理は、後述するプロジェクトの作成やユーザの追加等を行います。ネットワーク環境を考慮して選択して、「次へ」をクリックします。



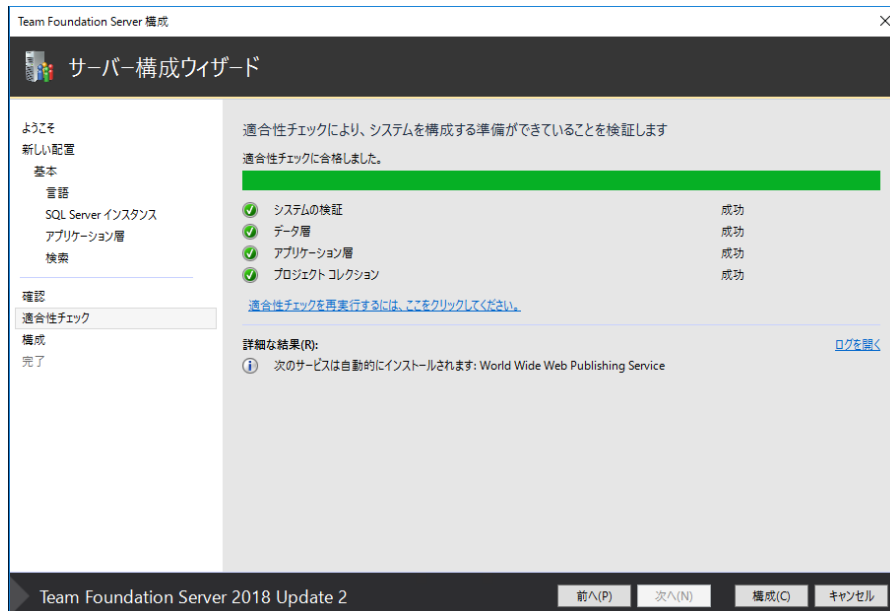
オプションの検索サービスの設定。必要に応じて選択し、「次へ」をクリックします。



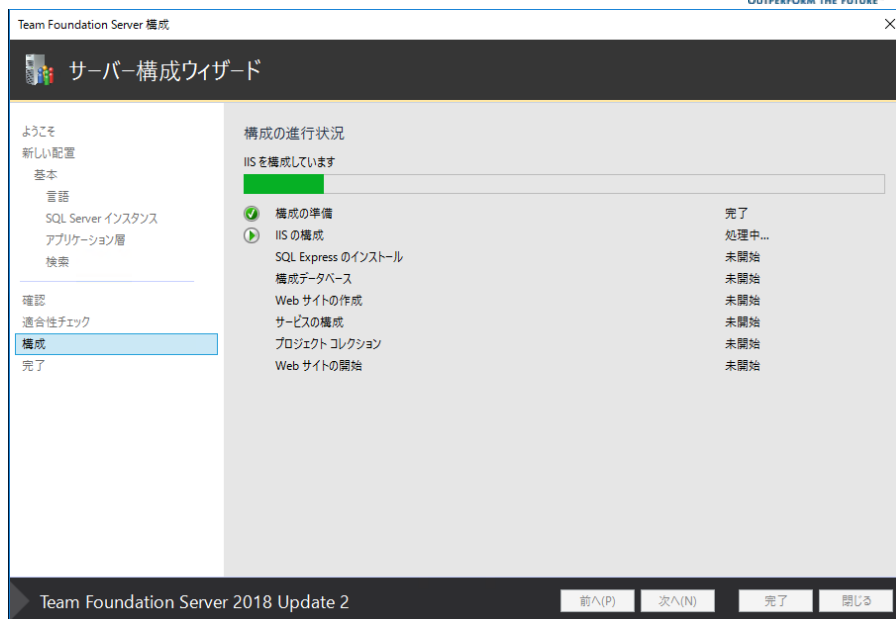
ウィザードで設定した項目を確認の上、「次へ」をクリックします。



インストール可能かどうか、サーバ環境の適合性がチェックされます。成功したことを確認の上、「構成」をクリックします。



セットアップが実行されます。



正常にセットアップされたら、「次へ」をクリックします。



ログやコメントを確認の上、画面を閉じます。



The screenshot shows the 'Server Configuration Wizard' window for Team Foundation Server 2018 Update 2. The window title is 'Team Foundation Server 構成'. The main area displays a green checkmark and the text '正常に完了' (Successfully Completed). Below this, it states that the configuration was completed successfully but a problem occurred. It provides a log file path: `C:\ProgramData\Microsoft\Team Foundation\Server Configuration\Logs\TFS_Server_構成_完全パスのコード-0809_065749.log`. The '接続の詳細(C):' (Connection Details) section shows the Team Foundation Server URL: `http://win2016db01:8080/tfs`. A '詳細な結果' (Detailed Results) section contains three items: a warning about SQL Server Express installation, a note about IIS performance improvements, and two informational notes about firewall exceptions for port 8080 and the 'TeamFoundationSshService.exe' process. The bottom of the window shows 'Team Foundation Server 2018 Update 2' and navigation buttons: '前へ(P)', '次へ(N)', '完了', and '閉じる'.

3.4 TFS チームプロジェクトの作成

TFS 2018 のチームプロジェクトは、Team Explorer 2013 から作成できませんので、Web ブラウザから、TFS の管理用 Web サイトにアクセスして行います。

Web ブラウザを起動して、次のような URL にアクセスします。

http://(TFS Server):8080/tfs

または、

https:// (TFS Server):8080/tfs

(TFS Server) は、TFS をインストールしたサーバ名。

※クライアントマシンからアクセスできない場合、サーバのファイアウォールをチェックするか、インストールしたサーバから Sever 名を localhost に設定して実行します。

次のような画面が起動されます。



それぞれの項目を入力し、作成ボタンを押下します。

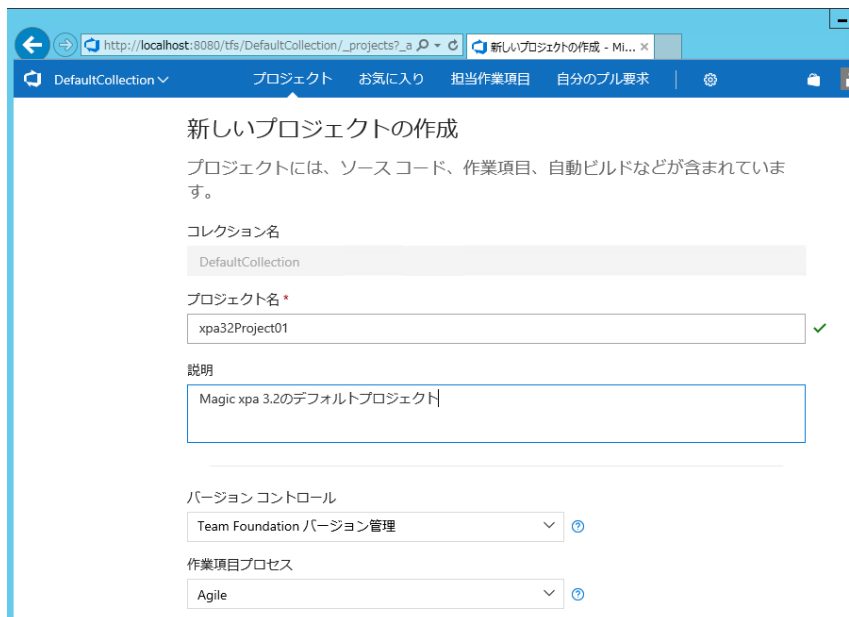
プロジェクト名: 必須

説明: 任意

バージョンコントロール: Team

Foundation バージョン管理

作業項目プロセス: 開発環境に合わせて選択しますが、通常はデフォルトの Agile で可。



作成後に、次のような画面が表示されれば、正常に作成されています。



ここで、TFS のサーバにアクセス可能な開発ユーザが登録済みであれば、右側にある「メンバー」の「+」をクリックして登録することができます。

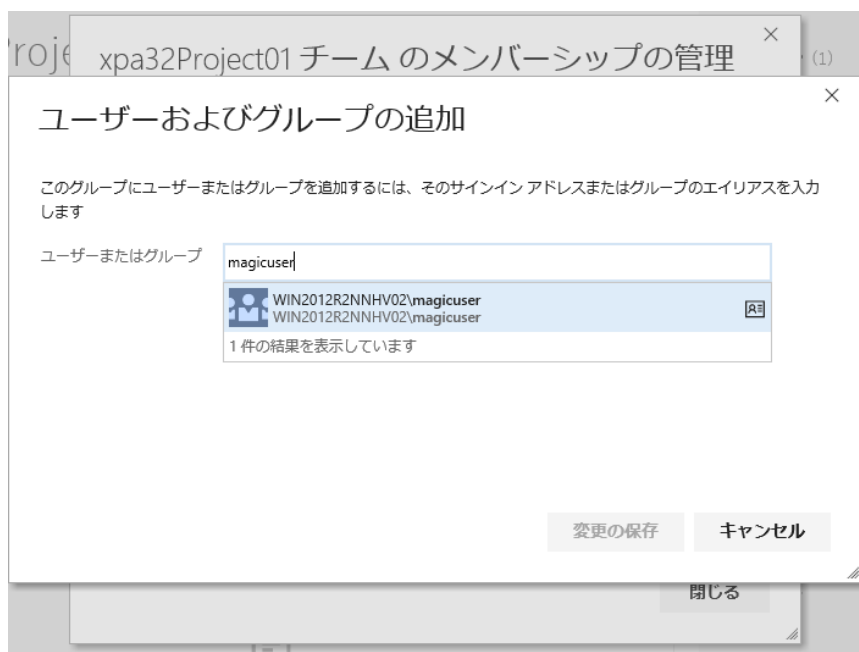
「+」をクリックします。



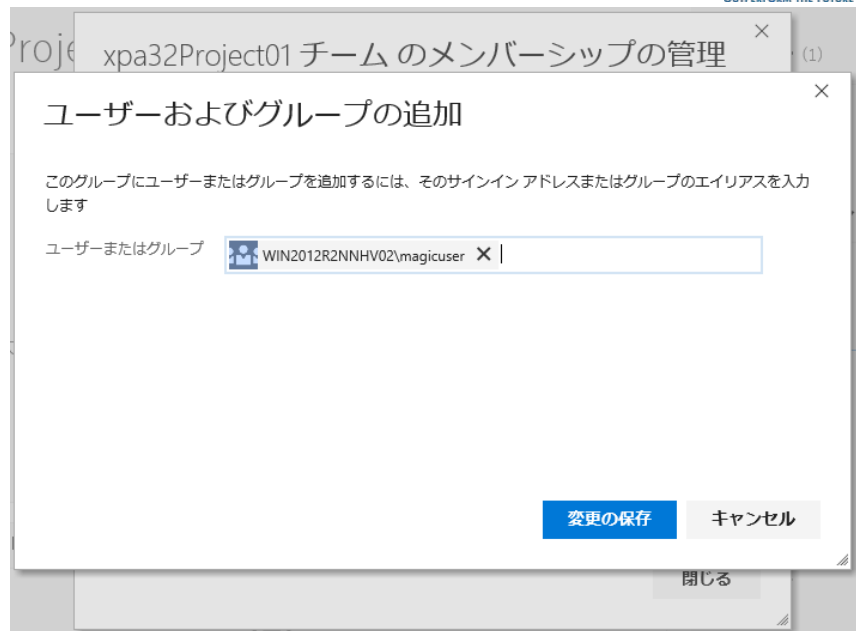
左上の「+ 追加」をクリックします。



登録されている Windows のユーザー、またはグループを入力すると、候補が表示されます。



Enter キーで確定して「変更の保存」をクリックします。



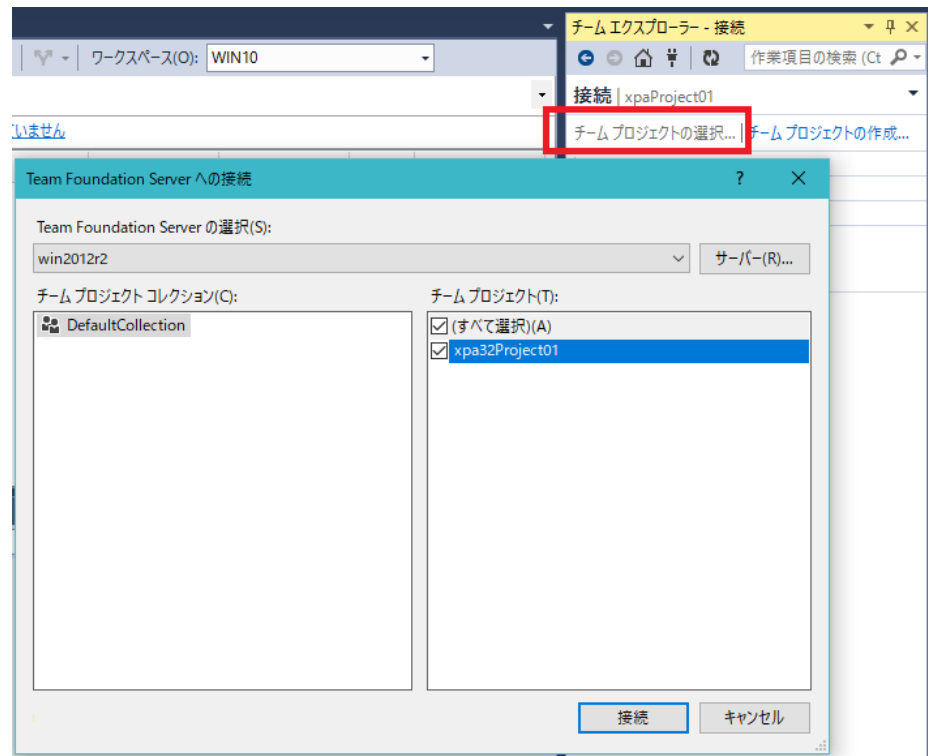
登録されました。



ブラウザを閉じて、TFS サーバでの作業は終了です。
チームプロジェクトの設定変更を、「4.クライアント側のインストール」を行った後に行います。

4.2 TFS への接続

クライアントの Team Explorer から[チームエクスプローラ]→[チームプロジェクトの選択]で、[サーバ]から、セットアップした TFS サーバを追加して選択すると、作成したチームプロジェクトが表示されます。



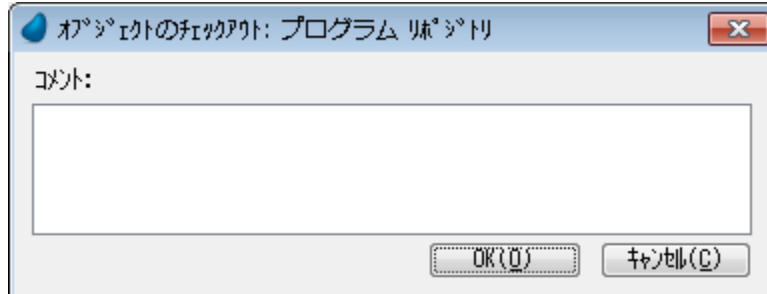
ソース管理エクスプローラを表示して、「3.4.3 チームプロジェクトの設定変更」の手順で、[チェックの設定]を変更します。

以上で、TFS のチームプロジェクトの設定は完了です。

6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト

通常、プログラムの追加、削除、移動などを行う場合、個々のプログラムに対するチェックアウトの前に、プログラムリポジトリに対するチェックアウトは自動的に行われます。

例えば、F4 キーで新規プログラムを作成時に次のようなダイアログが出ます。



チェックインは自動で行われませんので、追加、削除、移動が完了した後は、チェックインを行う必要があります。(6.2.2 参照)

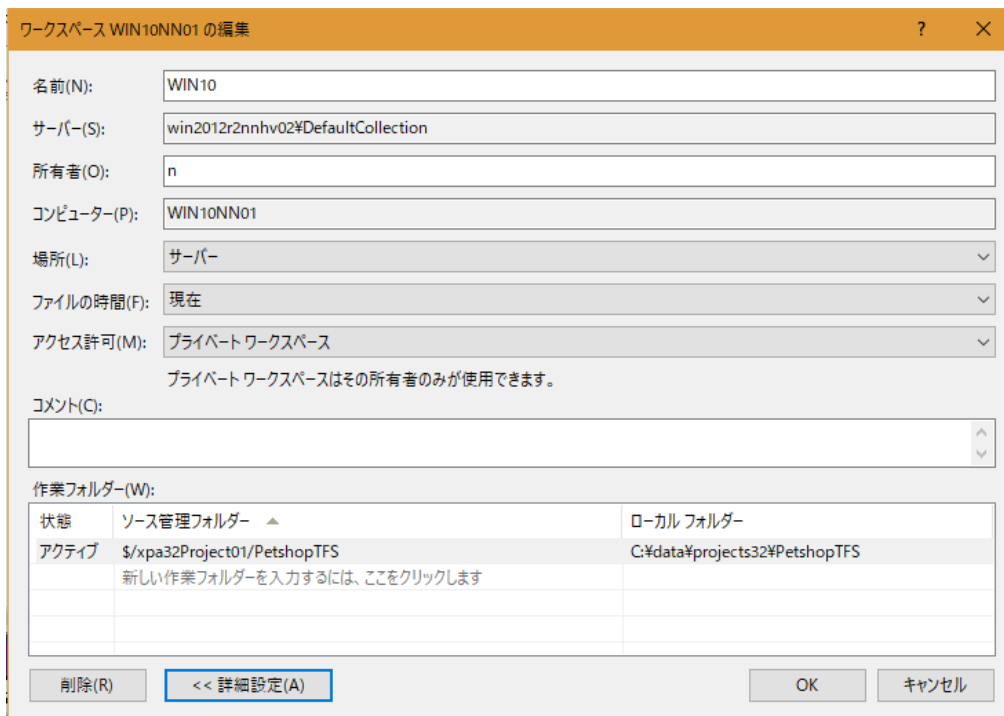
8. ワークスペースについて

ワークスペースは各クライアントで管理される TFS のチームプロジェクト内のソースファイルのフォルダと、それに対応するクライアントのローカルフォルダ、およびサーバかクライアントのどちらのワークスペースを有効にするかの情報等が保存されています。

ワークスペースは、Team Explorer から、[チームエクスプローラ]→[ソリューション]→ワークスペースの名前から右クリックメニューの[ワークスペースの管理]から、確認することができます。

「Magic xpa Studio でのバージョン管理は、ソース管理の設定で行ったように、複数のチェックアウトを有効にしないため、サーバのワークスペースで実行します。

したがって、xpa から作成されたワークスペースの編集画面の[場所]には「サーバ」が設定されます。」



ワークスペース WIN10NN01 の編集

名前(N): WIN10

サーバ(S): win2012r2nnhv02#DefaultCollection

所有者(O): n

コンピューター(P): WIN10NN01

場所(L): サーバ

ファイルの時間(F): 現在

アクセス許可(M): プライベートワークスペース

プライベートワークスペースはその所有者のみが使用できます。

コメント(C):

作業フォルダ(W):

状態	ソース管理フォルダ	ローカルフォルダ
アクティブ	\$/xpa32Project01/PetshopTFS	C:\data\projects32\PetshopTFS
新しい作業フォルダを入力するには、ここをクリックします		

削除(R) << 詳細設定(A) OK キャンセル

Magic xpa のプロジェクト作成時に、ワークスペースの情報は自動的に更新されますので、通常は編集することはありません。

例外的に、Team Explorer を介せずにプロジェクトの移動や削除をして、既に存在しないプロジェクトのデータが残っている場合は削除しても影響はありませんが、既存のプロジェクトのフォルダの情報を修正することは、ここでは行わないでください。

参考:

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms181383.aspx>

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb892960.aspx>

9. トラブルシューティング

9.1 クライアントから接続できない。

Team Explorer から接続できない場合、TFS サーバのファイアウォールの設定を確認してください。

アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する

許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更] をクリックします。

アプリに通信を許可する危険性の詳細

設定の変更(N)

許可されたアプリおよび機能(A):

名前	プライベート	パブリック	↑
<input type="checkbox"/> Netlogon サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> Secure Socket トネリング プロトコル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> SMBDirect でのファイルとプリンターの共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> SNMP Trap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	≡
<input checked="" type="checkbox"/> SQL Server 2012 UDP	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> SQL Server2012 TCPport	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> Team Foundation Server: TeamFoundationSshService	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> Team Foundation Server:8080	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> TPM 仮想スマートカード管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> uniPaaS19 MRB 5315	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> uniPaaS19 RemoteDebugger 5555	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> uniPaaS19 runtime	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	↓

詳細(L)... 削除(M)

9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。

デフォルトで設定されたローカルフォルダの指定が不正な場合に発生します。

以下のサイトを参考にして、プロジェクトの作成時にフォルダ名を変更してください。

<https://esupp.magicsoftware.co.jp/QCJSys/qcj.req?arguments=-A2002826.300>

9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません。」の行がある。

プログラムリポジトリ全体の同期を取ったときに、「プログラムの最新バージョンを取得」のチェックを行わなかったために、プログラム番号に対応するプログラムファイルが存在しない場合に発生します。

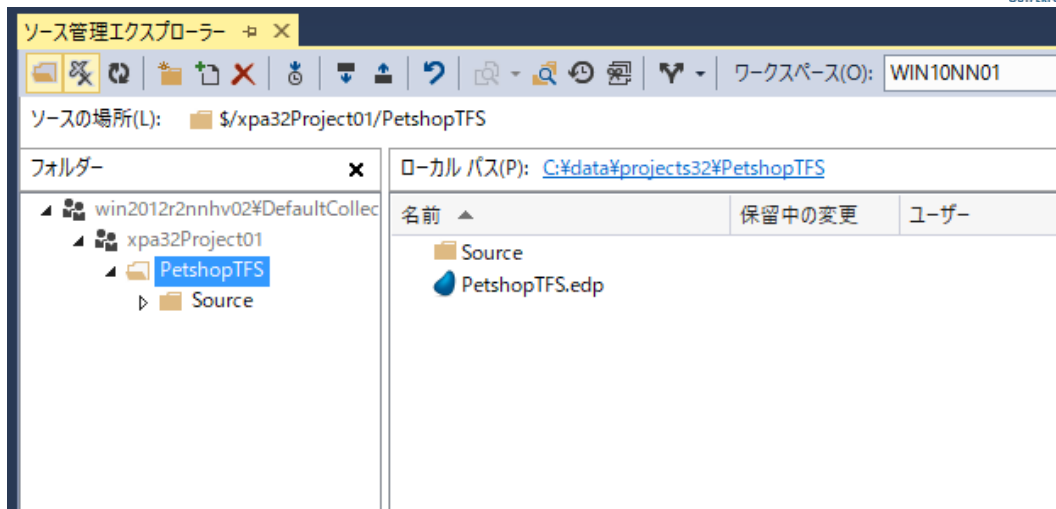
この場合、ツールバーの「選択したオブジェクトの最新バージョンを取得します」をクリックするか、複数のプログラム番号で、その記述がある場合には、プルダウンメニューから[バージョン管理]→[最新プロジェクトの取得]を行います。

9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、TFS サーバと正しくバージョン管理できなくなる。

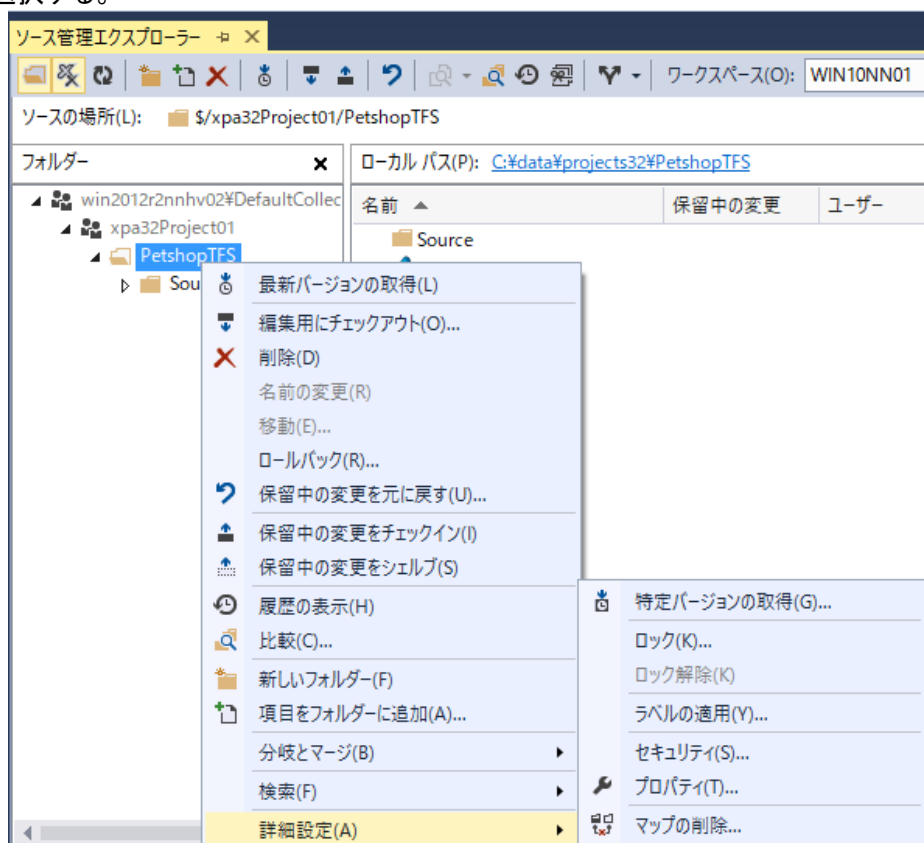
TFS の管理されたプロジェクトに対して、Windows のエクスプローラ等でフォルダの移動やリネームを行うと、TFS のプロジェクトと正しく同期がとれなくなります。

プロジェクトフォルダの移動を行う場合には、Team Explorer から行うことができます。

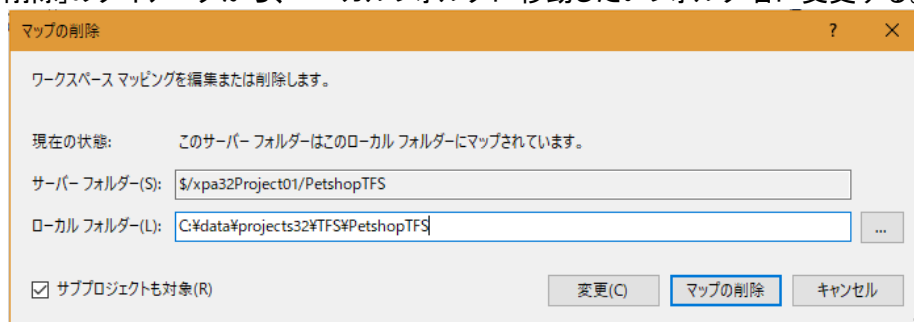
1. Magic xpa Studio で開発中のプロジェクトをクローズする。
2. Team Explorer を起動して、ソース管理エクスプローラを開く。



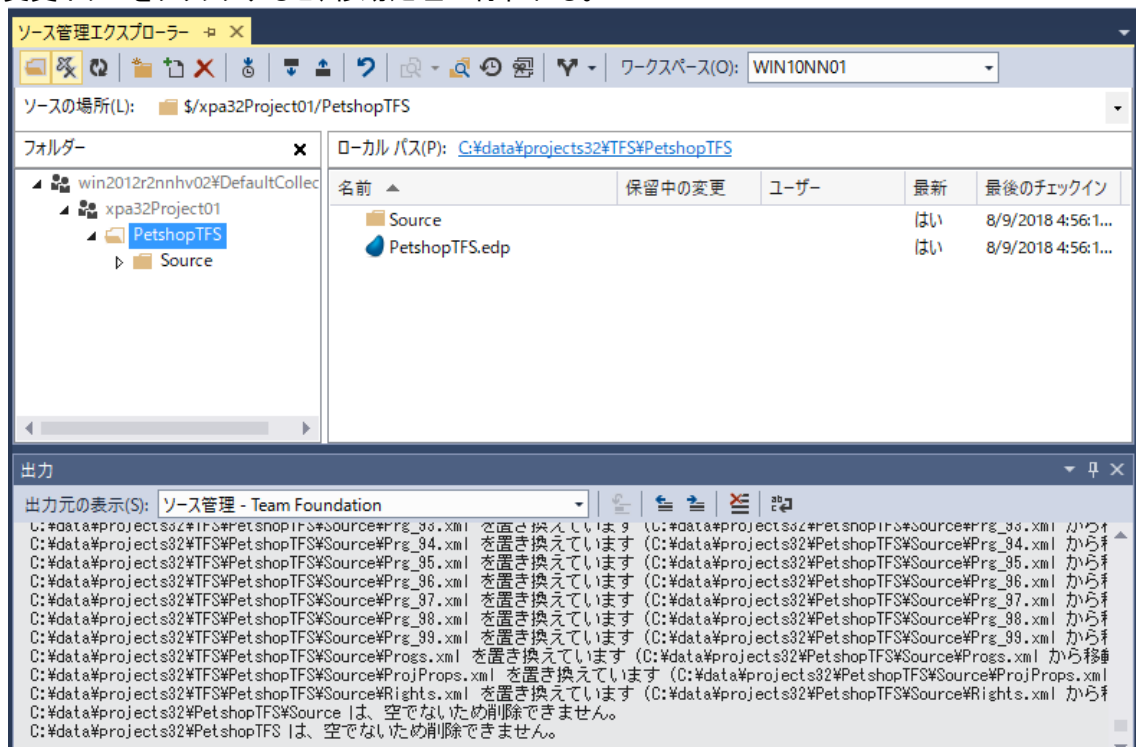
3. 左側の「フォルダー」ペインのプロジェクト名を選択して、右クリックメニューから、[詳細設定]→[マップの削除]を選択する。



4. [マップの削除]のダイアログから、ローカルフォルダに移動したいフォルダ名に変更する。



5. 変更ボタンをクリックすると、移動処理が行われる。



6. Magic xpa Studio で移動したプロジェクトを開いて動作を確認の上、移動前のフォルダを削除する。

9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、TFS のチームプロジェクトに残ったプロジェクトフォルダを削除すると、除外したはずのクライアントのプロジェクトも削除される。

「プロジェクトの除外」は、Magic xpa Studio 中の TFS との管理情報が削除されましたが、Team Explorer の TFS との関連情報は残っています。

クライアントのプロジェクトを残して、TFS のチームプロジェクトから削除したい場合、一旦、クライアントのプロジェクトを別のフォルダにコピーしてから、Team Explorer で、プロジェクトフォルダを削除およびチェックインします。

以上